

令和7年度

奈良市立看護専門学校

一般・社会人入学試験（専願C）問題

現代の国語・言語文化

試験時間 50 分（問題 1～17）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机の上には、受験票、筆記用具以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、**下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入**し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。2つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏名

--

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

死というような哲学じみた問題は、僕らの口を出すべきものでもないし、また出したところで何らの権威にもなるまい。が、ただ死というものは人間として誰でも免^{まぬか}るべからざる事柄であり、かつまた考えまいと思っても必ず我々の心を襲って来る事柄であるから、哲学者でなくても、何人でも、死については何かの思想は持っているものである。しかし一般に言えば死なる現象をいくらか弄ぶという嫌いなきにしもあらずと思う。ほとんどふざけ半分に死を論ずるといふものもある。しかしこの死に対する観念態度のいかんはすなわち凡俗と聖賢とを区別する標準じゃないかと思う。死を恐れるという語弊があるが、また(ア) 死を軽んずるといえばよく聞えるけれども、軽んじ方によっては甚^{はなは}だ愚^はの極であって、日本人は死することを何とも思わぬというは、褒めれば褒めるようなものの、生の責任を知らぬものと批難されるのも無理ならぬことと思う。㉑

死の価値を定めるものは生であると思う。しかして生の価値を定めるものは義務である。死を軽んずるといふことは義務を軽んずるといふ事になると僕は思っている。おのれの為すべき事を為して天にも地にも恥じない人は、死を見ること帰るがごとくなるべきで、これは古来の聖人君子の死に方を観てもよく分る。これに反しておのれの為すべき事をも為さずして死を恐れぬという。その辺の熊だの八だのと選ぶところがない。こういう風に死を軽んずるといふ事は決して褒めるに足らぬと思う。㉒

誰でも死を恐れるということは普通であるが、この死を恐れるという観念は、ただ生理学上あるいは生物学上のみの現象であろうとは僕には思われぬ。(イ) これには深い倫理的の意味のあるものと思う。死を恐れるとはすなわち生を重んずるの意味だろうと思う。生を重んずるといふは生きて為すべき義務を重んずる意味である。(ウ) 少女が男子に近くことを恐れる、その理由を訊せば知らない。この無意識に怖いということは少女の節操を重んずる理由であるので、人が死を恐れるのもこれと同じもので、無意識に生の義務を重んずるによるものと思う。㉓

おのれの義務を全うした人には、死は怖くも恐ろしくもないものじゃないかと思う。かつまた(エ) 死というものが、果してそう明かに生から区別すべきものかどうかという事も僕にはちょっと信じられない。無論死ねば肉体が朽ちる。物を言っておったものが言わなくなる。動いたものが静かになる、というような点からいうと非常な変化である。けれどもこれは生の一段階に過ぎないのじゃないかという気がする。聖書にもある通り、麦の種が死ななければ穂が出ない、ちょうどあんなようなもので、朽ちるところはなるほど麦の種が素人言葉でいう朽ちるように朽ちるであろう。が、それがために新たに種を結ぶところの根だの茎だのが生える。幽明^(注1)とか、有無とかいうものは形而下^(注2)の話で、精神上からいうたならば、生と死というものはさほど区別のあるものでないかも知れんと思う。メーテルリンクの『青い鳥』——あれは読んでも面白い戯曲であるが、私はあの実演をアメリカで見たが、実に今でも忘れられない印象を受けた。爺さんと婆さんが小屋の前に腰を掛けて眠っている。そこに孫が二人走って来て「お爺さん、お婆さん」と声をかけると、二人が眼を覚まして孫を抱いて大変に喜ぶ。すると孫は、「お爺さん、お婆さん、あなたたちはよほど前に死んでしまったんじゃないんですか」といふと、お爺さんがいふのに、「世の中では私たちを死んだというんだが、いわゆる死んだ人も世の中の人を忘れている間は死んだというんで、(オ)があるとその度ごとに生き返るんだ。」という所がある。それから同じ『青い鳥』の中に——あすこは芝居で見ぬと分らぬ所と思うが——子供ら二人が墓場に行き、妹は「こんな淋^{さび}しい所に来て怖い怖い」と大きな声して泣く。すると兄貴の方が「何怖い事があるものか」といってちょっと頭に被っている帽子に手を触ると、墓場が急に花園に変わる。㉔

私はこの死という事を思うと、いつでもソクラテスとキリストの死に方に心を慰むることが多い。かのルソーもソクラテスの伝を書いて、彼の自若として死ぬる様には非常に敬服したものと見えて、その伝の筆を置かんとする時に「ソクラテスは実に哲学者の死を遂げた」と書いてその文を結ばんとした時に、ふと眼前に閃いたのはキリストの死に方であった。故にまた筆を執り直しほとんど付録のように「しかるにイエス・キリストは神のごとくに死した」と書き加えた。外から見て、自若として死を迎える胆力は、世に稀とはいいいながら、数えれば少なくないと思う。ただややもすると、(カ) 死をもって最上の戯曲のごとく思っているものがある。俺が死ぬんだから、ここで一つ華やかにして見せようというようなものがある。内心、人と和し神と親しみ、心に一点の悔いすることなく、安らかに死を迎う、これはすこぶる少ないものだと思う。㊥

(新渡戸稲造「死」の問題に対して)による)

(注) 1 幽明：死後の世界と現世。2 形而下：形をそなえたもの。物質的なもの。

問題 1 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の㊀～㊥のうちから一つ選択せよ。

つまり世の中に死というものがないということを現わした所で、すなわち頭の使い方によって死ぬる生きるという事が定まるんで、多く主観的の現象と見なしてよいように思う。

- 1 ㊀ 2 ㊁ 3 ㊂ 4 ㊃ 5 ㊄

問題 2 下線部(ア)「死を軽んずるといえばよく聞えるけれども、軽んじ方によっては甚だ愚の極」とあるが、どういうことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 自己の責任を果たすために命を投げ出す態度は立派なようだが、たいていは考えが足らず失敗するという事。
- 2 聖人君子が死を軽んずるのは自己の義務を放棄しているからであり、実際には褒められたものではないということ。
- 3 死をおそれないといっても、人生で果たすべき義務から逃げている場合には立派な態度とは言えないということ。
- 4 死をふざけて論じることは愚かに聞こえるが、その中には古来の賢人の知恵も含まれているということ。
- 5 日本人が死をおそれないのは、死の価値を重んずるあまり生の価値を低く見ているからだということ。

問題3 下線部(イ)「これには深い倫理的の意味のあるものと思う」とあるが、どういうことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 死に対する恐怖は、少女に特有の義務の感覚と結びついているため、少年にはないということ。
- 2 生物としての本能によって死へのおそれが生まれるが、人間は理性でそれを克服できるということ。
- 3 無意識にある死への恐怖と、意識して選ぶ人生の義務が結びついて自己の生の価値を決めるということ。
- 4 人生における倫理を深く考えない人は、無意識でも死を軽んじるようになるということ。
- 5 本来誰もが死をおそれるのは、生きている間に実行すべき義務を無意識に知っているからだということ。

問題4 空所(ウ)に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 しかしながら
- 2 たとえていえば
- 3 根本的には
- 4 せんだって
- 5 とりもなおさず

問題5 下線部(エ)「死というものが、果してそう明かに生から区別すべきものかどうかという事も僕にはちょっと信じられない」とあるが、筆者はなぜそう考えるのか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 麦が朽ちることによって次の世代の麦の成長につながるように、植物には死がないから。
- 2 死者の遺した業績や失敗をいかすことで、生者の文明は一步一步、発展を続けることができるから。
- 3 生物は死んだ直後にはまだ生きていたころとそっくりの姿を保っており、生死の見分けがつかないことがあるから。
- 4 死によって物質としての個体がなくなったものも、人間の精神の中では生き続けることができるから。
- 5 メーテルリンクが描いたように、死者の魂は生者の世の中のことをいつも気にかけているから。

問題6 空所(オ)に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 記念してくれる人
- 2 世の中の人への伝言
- 3 墓参りを忘れた子孫
- 4 怨恨を向ける相手
- 5 お祝いの儀式

問題7 下線部(カ)「死をもって最上の戯曲のごとく思っているものがある」とあるが、どうい
うことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 一部の人は、『青い鳥』の戯曲のように死をおそれず優雅にふるまうことができるということ。
- 2 『青い鳥』のような戯曲は、死の華やかさを強調して安らかさを否定しているということ。
- 3 人は死を前にして動揺し、大げさな虚飾によってごまかそうとする傾向があるということ。
- 4 自己の死を他人に見せびらかすことによって、かえって落ち着いた心境になれるということ。
- 5 哲学や宗教に生きた人の自若とした死に様を、歴史上最もドラマチックな場面だと考えるとい
うこと。

問題8 本文の内容と合致する記述として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 本来は誰もが死をおそれているのに死を軽んずるようになってしまうのは教育のせいである。
- 2 自己の人生の義務を果たしたと確信する人は、死へのおそれから解放される。
- 3 人生において為すべき義務が何であったかは、死の直前になってはじめてわかることがある。
- 4 死を前にして慌てず、静かに受け入れるべきだという教えは聖書に由来する。
- 5 イエス・キリストの死のあり方は、ソクラテスより荘厳で立派だといえる。

第2問 次の各問いに答えよ。

問題9 下線部に示す漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 一念発起 (はつき) して資格を取る。
2 彼の行動は矛盾 (むじゅん) している。
3 寺の建立 (けんりつ) 十周年を記念する。
4 神楽 (しんらく) 坂の街を散歩する。
5 霊前に供物 (とももの) を置く。
- (2) 1 演技はまったくの素人 (しろうと) だ。
2 茶道の奥義 (おくよし) をきわめる。
3 山車 (やまぐるま) の行列に歓声が上がる。
4 寒い夜に氷雨 (ひょうう) が降り続く。
5 功德 (くとく) のほどこしを受ける。
- (3) 1 湯上がりに浴衣 (ねまき) を着る。
2 勝敗の行方 (いくた) を左右する。
3 子どもの学費を工面 (こうめん) する。
4 雪崩 (なだれ) を打って敗走する。
5 遊説 (ゆうせつ) の日程が立て込む。

問題10 下線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 強盗未睡 (みすい) の疑いが持たれる。
2 会社の使用去諾 (きょだく) を得る。
3 法令順守 (じゅんしゅ) の意識が高い。
4 記事の一部を伐粹 (ばっすい) する。
5 世論調査を実始 (じっし) する。

- (2) 1 図書の返却を催足（さいそく）する。
 2 非劣（ひれつ）な手口が明らかになる。
 3 金融政策が緩和（かんわ）される。
 4 幼少の頃から異祭（いさい）を放つ。
 5 物事が円滑（えんかつ）に進む。
- (3) 1 既成（きせい）事実化が着々と進む。
 2 仕事の拘速（こうそく）時間が長い。
 3 チームの結速（けっそく）を強める。
 4 予算の削限（さくげん）案を示す。
 5 科学技術を屈使（くし）する。
- (4) 1 世界恐荒（きょうこう）の歴史を振り返る。
 2 会場内に緊長（きんちょう）が広がる。
 3 弟は純感（どんかん）な人と言われる。
 4 早期の事態収拾（しゅうしゅう）を望む。
 5 彼女は穩建（おんけん）な性格の持ち主だ。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) ホウ問看護を利用する。
 1 新年のホウ負を語る。
 2 北欧諸国を歴ホウする。
 3 ホウ潤な味わいを楽しむ。
 4 採るべきホウ策を考える。
 5 ホウ建制度の成り立ちを学ぶ。
- (2) 夏休みは那須で静ヨウする。
 1 落ヨウ樹を観察する。
 2 お土産にヨウ菓子をいただく。
 3 太ヨウ光発電設備を設置する。
 4 今日は朝から雨模ヨウだ。
 5 栄ヨウ士の資格を取得する。
- (3) ゴウ理的な判断を行う。
 1 談ゴウ事件で逮捕者が出る。
 2 捕虜のゴウ問は国際法で禁じられている。
 3 妹はいつもゴウ情を張る。
 4 大富ゴウの私生活を垣間見る。
 5 映画を観てゴウ泣する。

問題 12 次のうち「細心」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 小言 2 微弱 3 綿密 4 極限 5 希少

問題 13 次のうち「反抗」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 善良 2 服従 3 優越 4 秀逸 5 使命

問題 14 次の語句の意味として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) デフォルト

- 1 神秘的・超自然的な現象のこと。
- 2 絵画・彫刻などで、対象を意識的に変形して表現すること。
- 3 感受性が強く、繊細なこと。
- 4 格式ばらないようすのこと。
- 5 もともとそうになっていること。標準。規定。

(2) 口を割る

- 1 他の人がしている話に割り込んで、自分の意見を言うこと。
- 2 両者が事前に示し合わせて、発言の内容を一致させること。
- 3 言ってはいけないことを、うっかり言ってしまうこと。
- 4 隠していたことを白状すること。
- 5 物事を最初に始めて、他が続くためのきっかけを作ること。

(3) 乗り掛かった船

- 1 何かをしようと思うときに都合よく望みどおりの条件が整うこと。
- 2 物事にかかわりを持ったからには、途中で抜け出すわけにはいかないこと。
- 3 信頼できるものに身を任せて、すっかり安心していること。
- 4 口先で巧妙に言いくるめて人をだますこと。
- 5 事が十分に熟した時を迎えたり、調子が出て活気づいたりすること。

(4) 晴耕雨読

- 1 悠々自適、気ままな暮らしのこと。
- 2 一日中、我を忘れて読書にひたりきること。
- 3 大切なことと、つまらないことを取り違えること。
- 4 自分で努力をせずに、ひたすら他人の協力や援助をあてにすること。
- 5 心をこめて物事にはげむこと。また、物を大切にすること。

(5) 金科玉条

- 1 文化や勢い、栄光などの最盛期のこと。
- 2 黙って気を散らさずに、深く考えこむこと。
- 3 自分の主義や主張、立場の絶対的なよりどころになる思想や信条などのこと。
- 4 度胸がすわっていて、敵を敵とも思わないこと。
- 5 行いや心のもちようが正しく立派で、模範的であること。

問題 15 次の意味を表す言葉として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 講義などの内容や進め方を示す計画書のこと。

- 1 アウトソーシング
- 2 シラバス
- 3 カテゴリー
- 4 ジャンル
- 5 カスタマイズ

(2) ある物事を諦めて観念する時のこと。

- 1 開いた口が塞がらない
- 2 後ろ指をさされる
- 3 片棒を担ぐ
- 4 年貢の納め時
- 5 腹が黒い

(3) 病気をしないで健康なこと。

- 1 平穩無事
- 2 千両役者
- 3 現状維持
- 4 月下氷人
- 5 無病息災

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 卒業論文は、私にとって血と涙の結晶だ。
- 2 減らず口をたたくのは、やめてほしい。
- 3 姉と妹のテニスの実力は、さほど違くない。
- 4 自らの言動を柵に置いて、権力を振りかざす。
- 5 手が負えない乗客に迷惑する。

問題 17 次の記述に当てはまる人物の名前として正しいものを一つ選択せよ。

1935年(昭和10年)、愛媛に生まれる。1958年(昭和33年)に『飼育』で芥川賞を受賞し、石原慎太郎、開高健とともに新世代作家として認められた。60年安保では反安保を表明し、政治的・社会的立場を明らかにした。その後は核時代の認識の下に『ヒロシマ・ノート』などを出版した。1994年(平成6年)には、川端康成に次いで日本で二人目のノーベル文学賞を受賞した。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1 大江健三郎 | 2 井上ひさし | 3 島崎藤村 |
| 4 太宰治 | 5 宮沢賢治 | |

以 上